

6

# ざっくり 聖書入門

## 「モーセ・後編」

出エジプト記  
～申命記



## 【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 十戒・律法の授与

II. 幕屋の建設

回復した神の栄光

III. 荒野の40年

IV. まとめと適用

人はどうしたら

変われるのか？



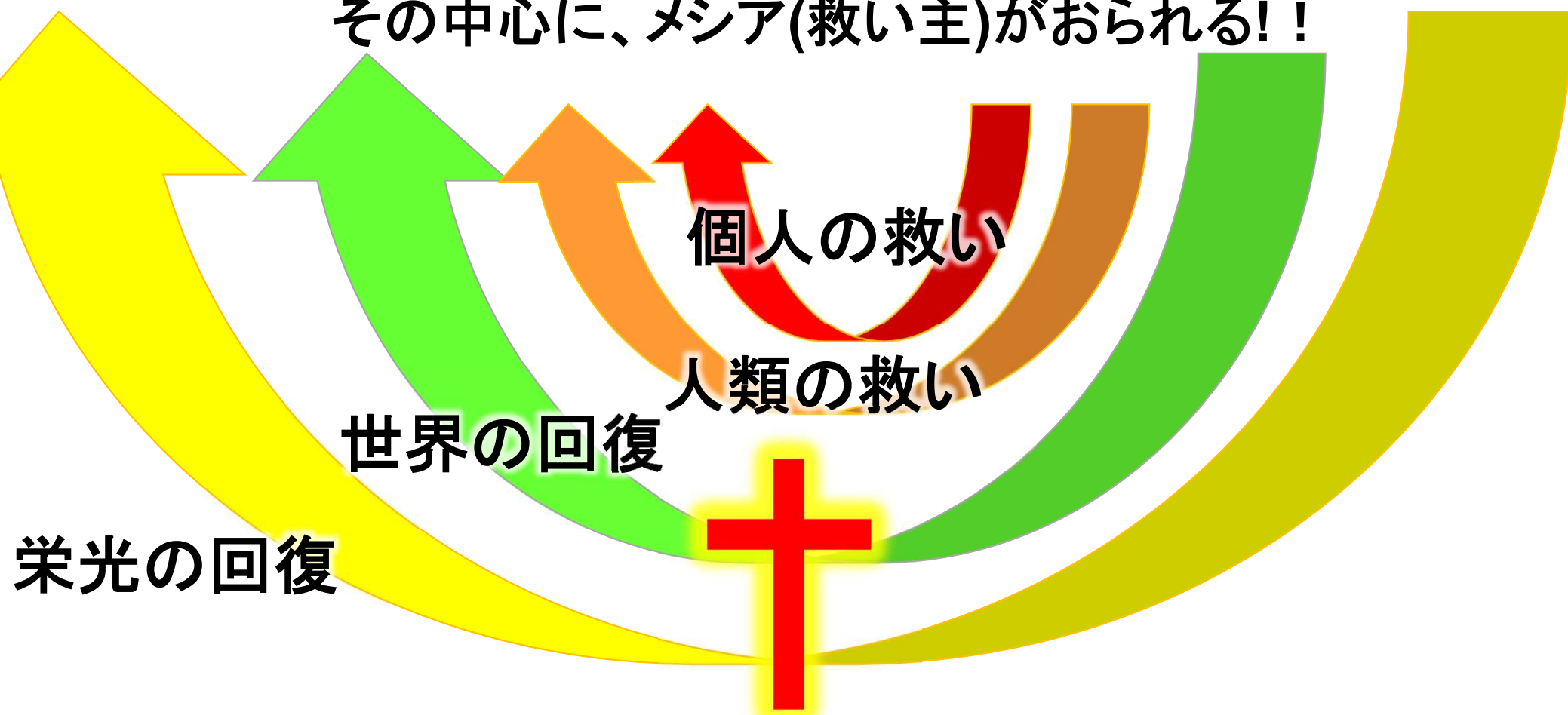


ふりかえり



# 聖書の最大のテーマは、「神の栄光の回復」

世界に神の栄光が回復される時、すべて回復される。  
その中心に、メシア(救い主)がおられる!!





謎解きのカギは？

聖書は、「メシア(救い主)」を  
めぐるミステリー!!

---

メシアとは？

誰か？

いつ現れるのか？

どこで生まれるのか？

何をされるのか？

神の約束 = 契約

## 【創世記11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。



②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。



③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!  
人類の希望は、神が約束された女の子孫(メシア)にある!!

神の計画は、アブラハムから動き出した!!

# 【アブラハム契約とは？】

## ■ 聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

## 【三つの主な条項】

① 子孫の約束

② 土地の約束

③ 祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

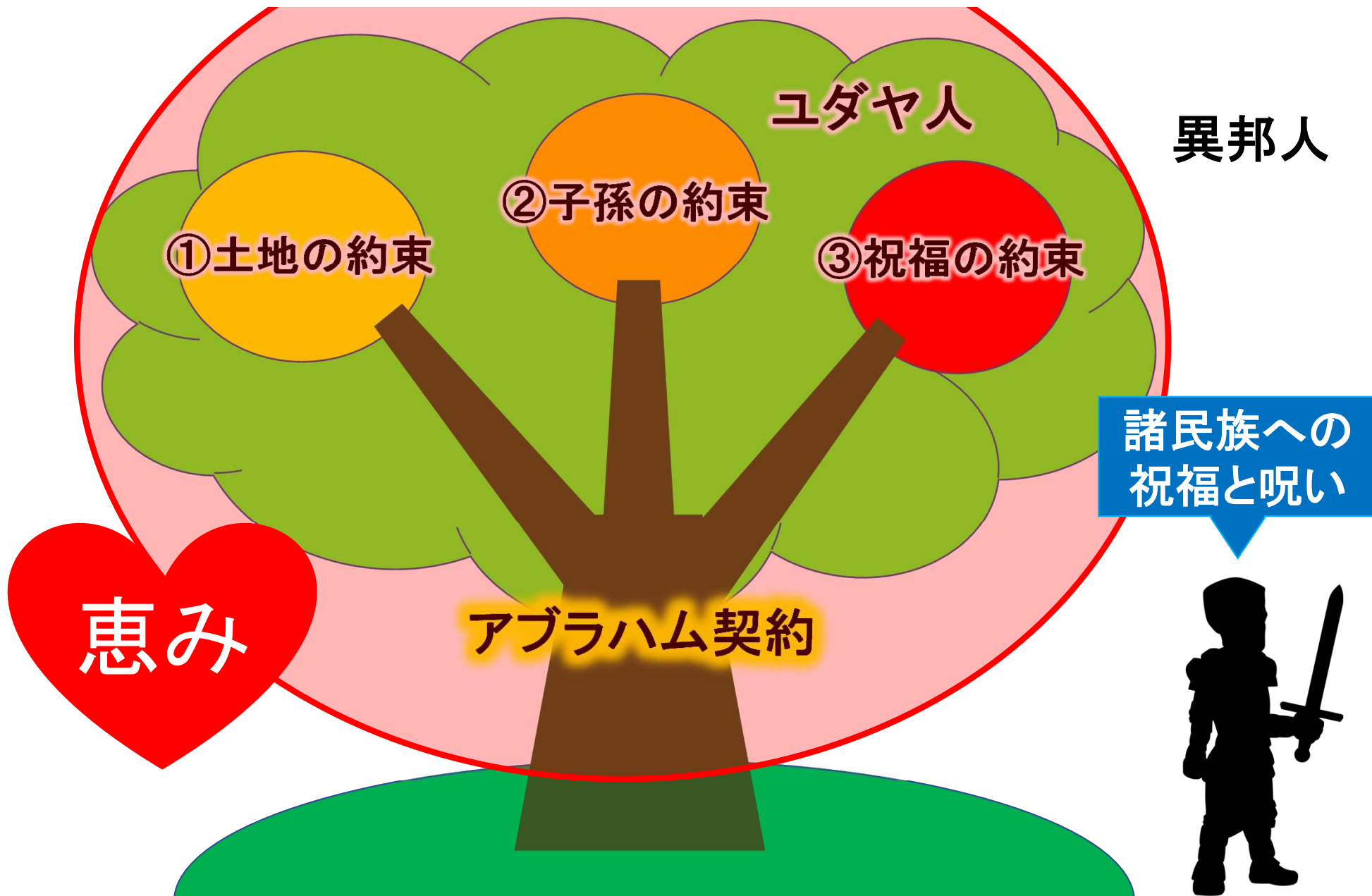
※付帯条項 ... 祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ... 割礼

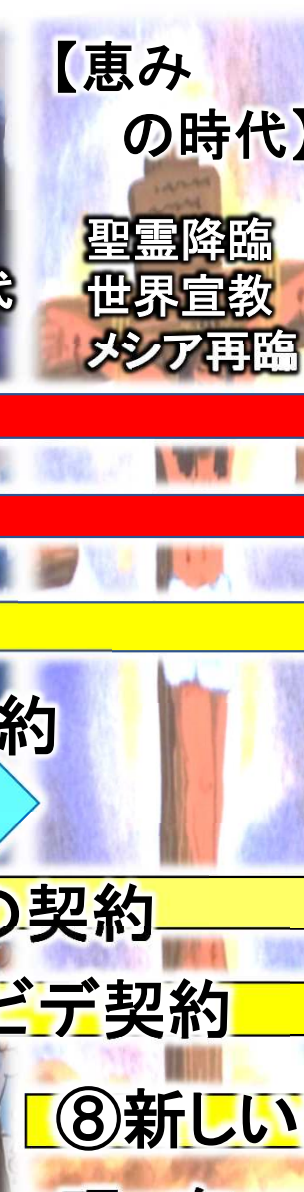
神の契約が、  
アブラハムと子孫を  
守り、導く



【アブラハム契約】







【恵みの時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪  
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム  
~ヤコブ

イスラエル王国時代  
メシア初臨

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

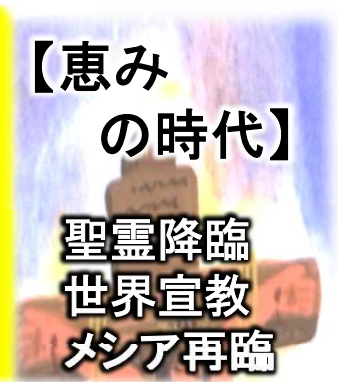
⑧新しい契約

聖書を貫く  
七つの時代と  
八つの契約

過去

現在

未来



【恵みの時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪  
~大洪水

バベルの  
塔事件

アブラハム  
~ヤコブ

イスラエル  
王国時代  
メシア初臨

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン  
契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

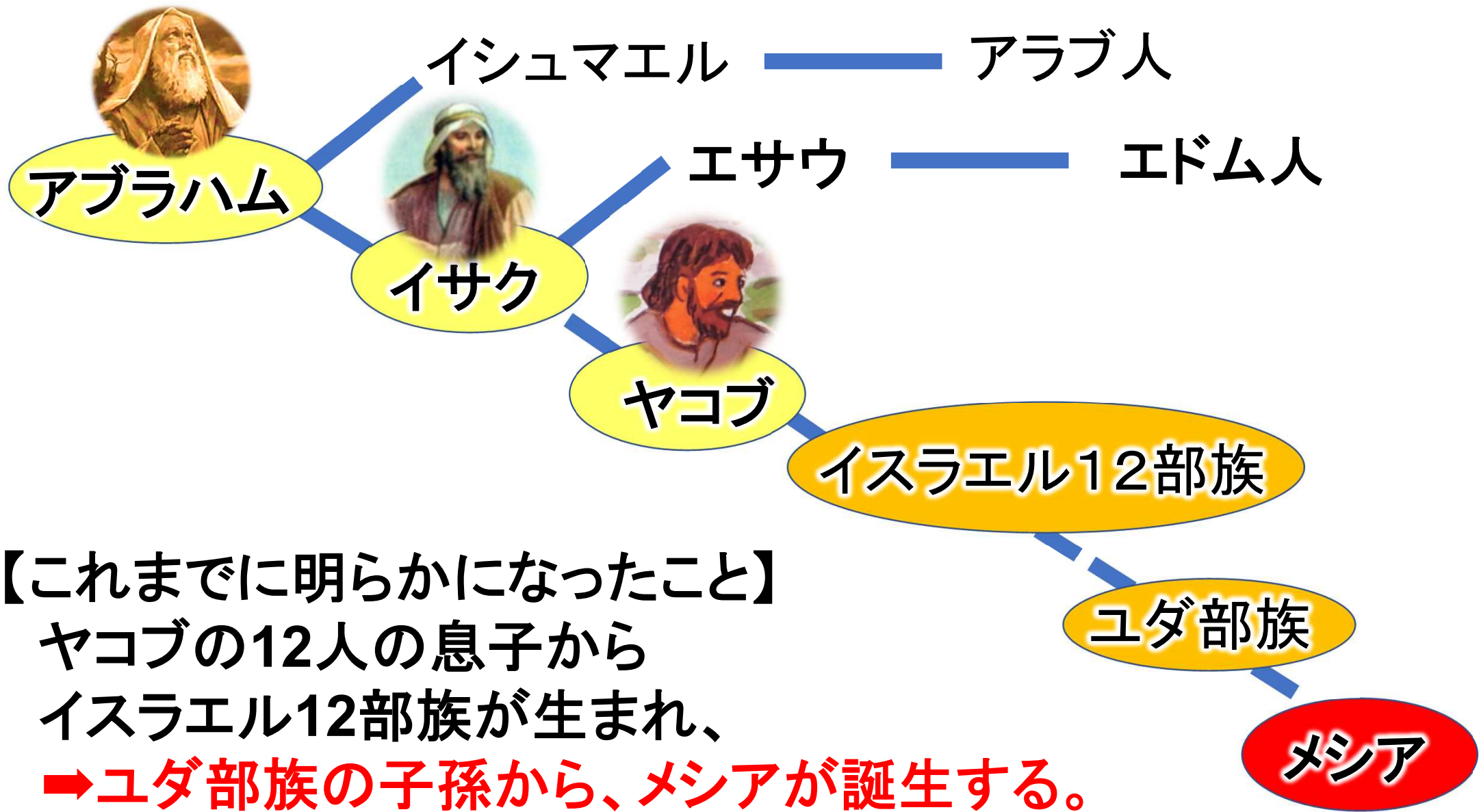
⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

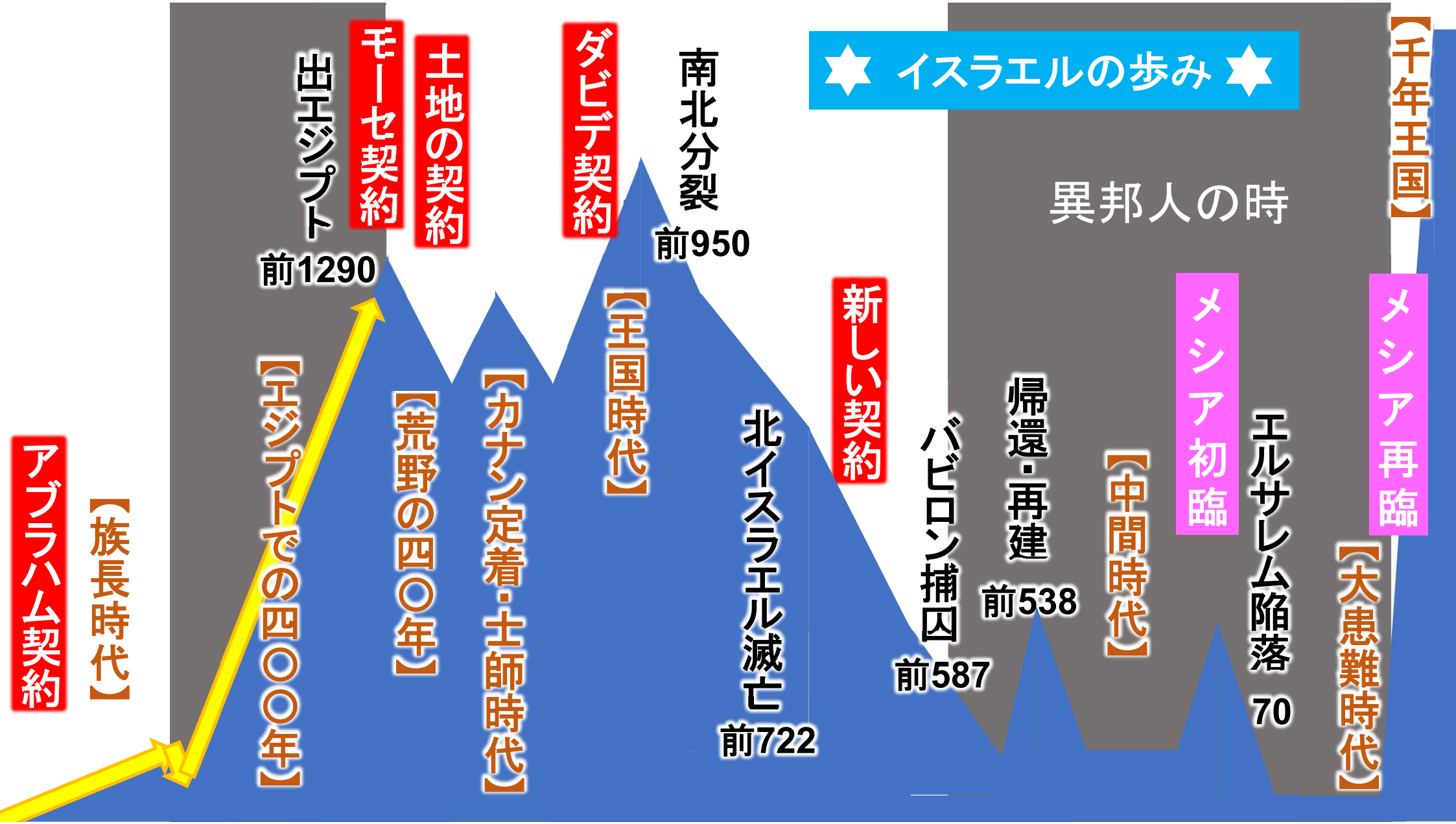


【これまでに明らかになったこと】

ヤコブの12人の息子から  
イスラエル12部族が生まれ、

➡ユダ部族の子孫から、メシアが誕生する。

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

前1290

出エジプト

モーセ契約

土地の契約

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

北イスラエル滅亡  
前722

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落  
70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

0～40歳

40～80歳

80～120歳

奴隸の子として誕生

王の子として成長

逃亡者に  
40才

ミディアン人の娘ツッポラと結婚

荒野での羊飼生活

召命 80才

十の災い

出エジプト

モーセ契約

民の反抗

荒野の四〇年

土地の契約

召天

【モーセの生涯】

# I . 十戒·律法授与 (出15~24章)

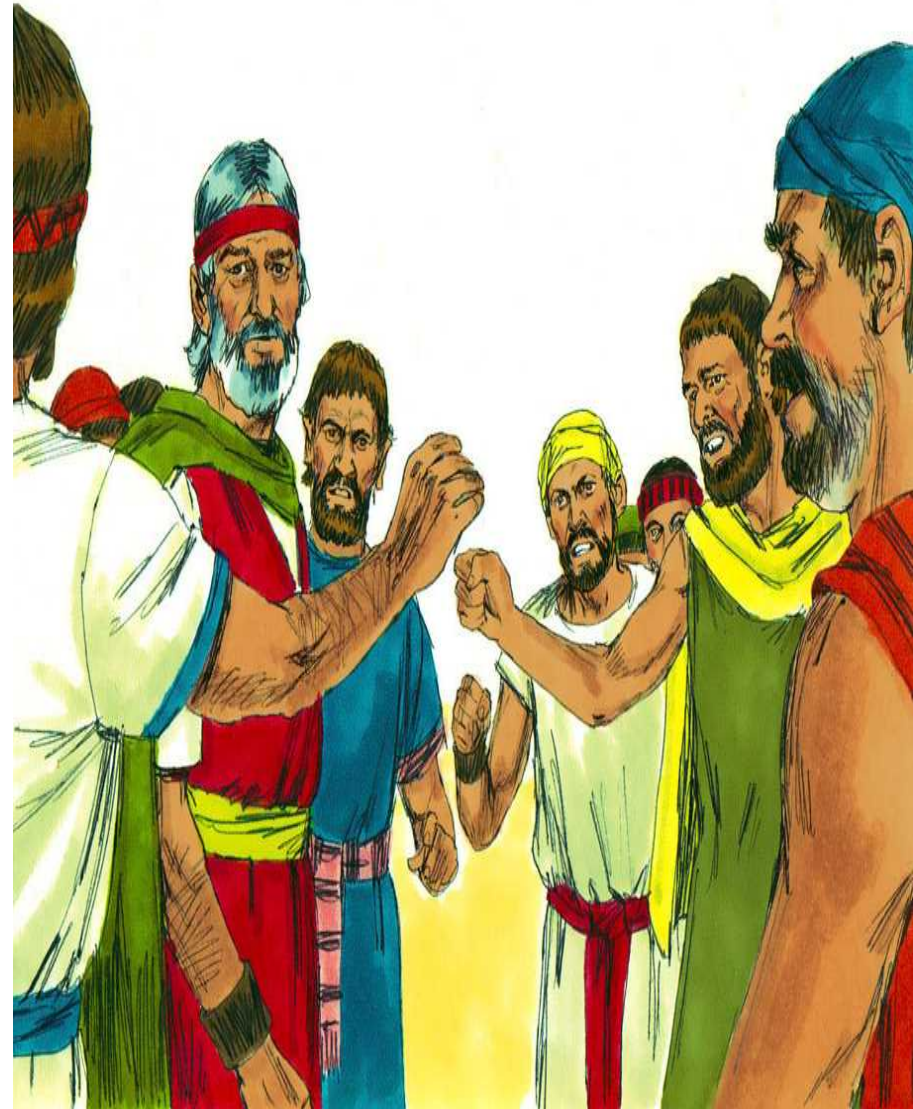


## 【イスラエルの民の不満】 出15～18章

- 劇的なエジプト脱出の数日後には、民は、水がないと不平を言った。
- 荒野を旅する中で、肉がない、パンがないと、民の不満は募っていく。

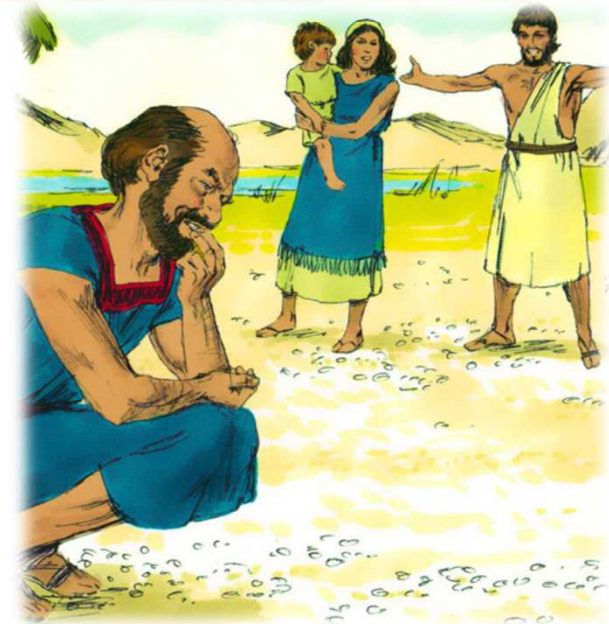
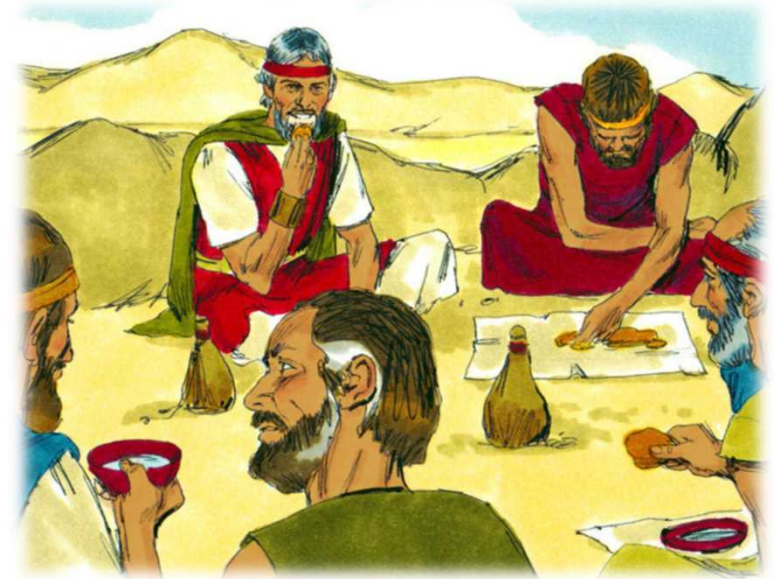
## 【民のつぶやき】 出16:2～3

「エジプトの地で、肉なべのそばにすわり、パンを満ち足りるまで食べていたときに、私たちは【主】の手にかかって死んでいたらよかったのに。」



## 【民の不満と主の憐れみ】 出15～18章

- しかし主は、イスラエルに水を与え、肉を飽きるまで食べさせ、さらには、天からのパン、マナを降らせた。
- イスラエルが荒野をさまよった40年間、マナは、尽きることがなかった。



## 【出エジプト記6:14～15】

その一面の露が上がると、見よ、荒野の面には、地に降りた白い霜のような細かいもの、うろこのような細かいものがあった。



## 【シナイ半島の荒野の旅を経て】

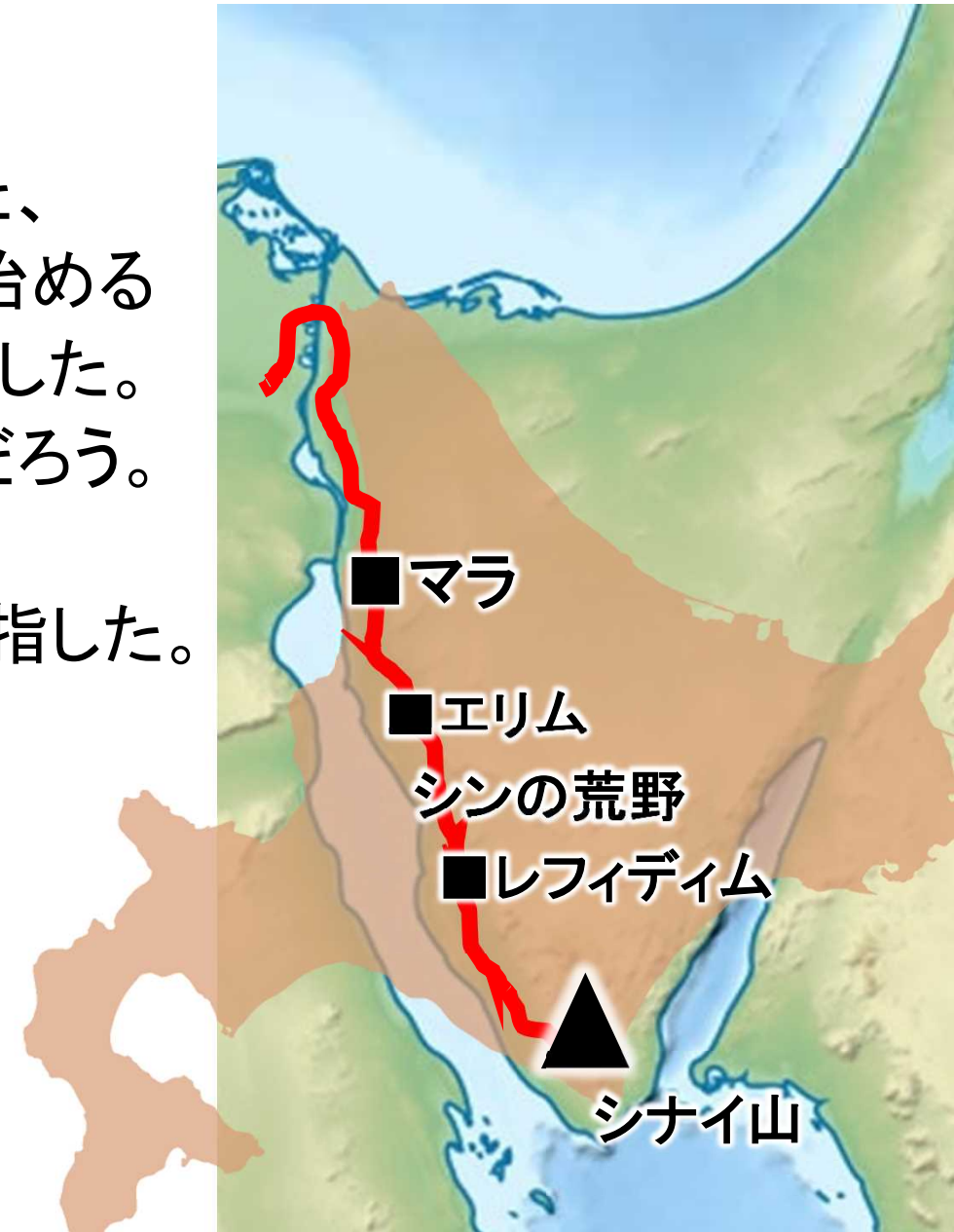
- 葦の海を渡り、エジプトを脱出したイスラエルは、シナイの荒野へ。
- まもなく、民の不満が噴出。ことあるごとに、つぶやきが繰り返された。
- 神は、天からパンを与え、岩から水を湧き出させ、民を養った。
- ミデヤン人の舅イテロは、掟と定めが民には必要だとモーセに告げた。
- 約3ヶ月の旅を経て、シナイ山へ。



いよいよ律法が授与される!!

## 【シナイ山を目指すイスラエル】

- イスラエルを祝福し、共に礼拝を献げた、モーセの舅。ミデヤン人イテロが、民を治める「掟と定め」が必要だと、モーセに忠告した。
- モーセは、民を治める法を欲していただろう。
- イスラエルは、シナイ山(ホレブ山)を目指した。  
➡モーセが神から召命を受けた地。
- シナイ山で、イスラエルは、神と正式な契約を結び、律法を授かることとなる!!



## 【シナイ山に現れた神の栄光】

■ エジプトを出て約2ヶ月後、シナイ山に到着。  
裾野に宿営したイスラエルに  
主の栄光(シャカイナグローリー)が現れた!!

## 【出エジプト記19:16~18】

三日目の朝になると、山の上に雷といわず  
まと密雲があり、角笛の音が非常に高く鳴り  
響いたので、宿営の中の民はみな震え上  
がった。モーセは民を、神を迎えるために、宿  
営から連れ出した。彼らは山のふもとに立  
った。

シナイ山は全山が煙っていた。それは【主】  
が火の中であって、山の上に降りて来られた  
からである。その煙は、かまどの煙のよう  
に立ち上り、全山が激しく震えた。



シャカイナグローリーの  
オンパレード!!

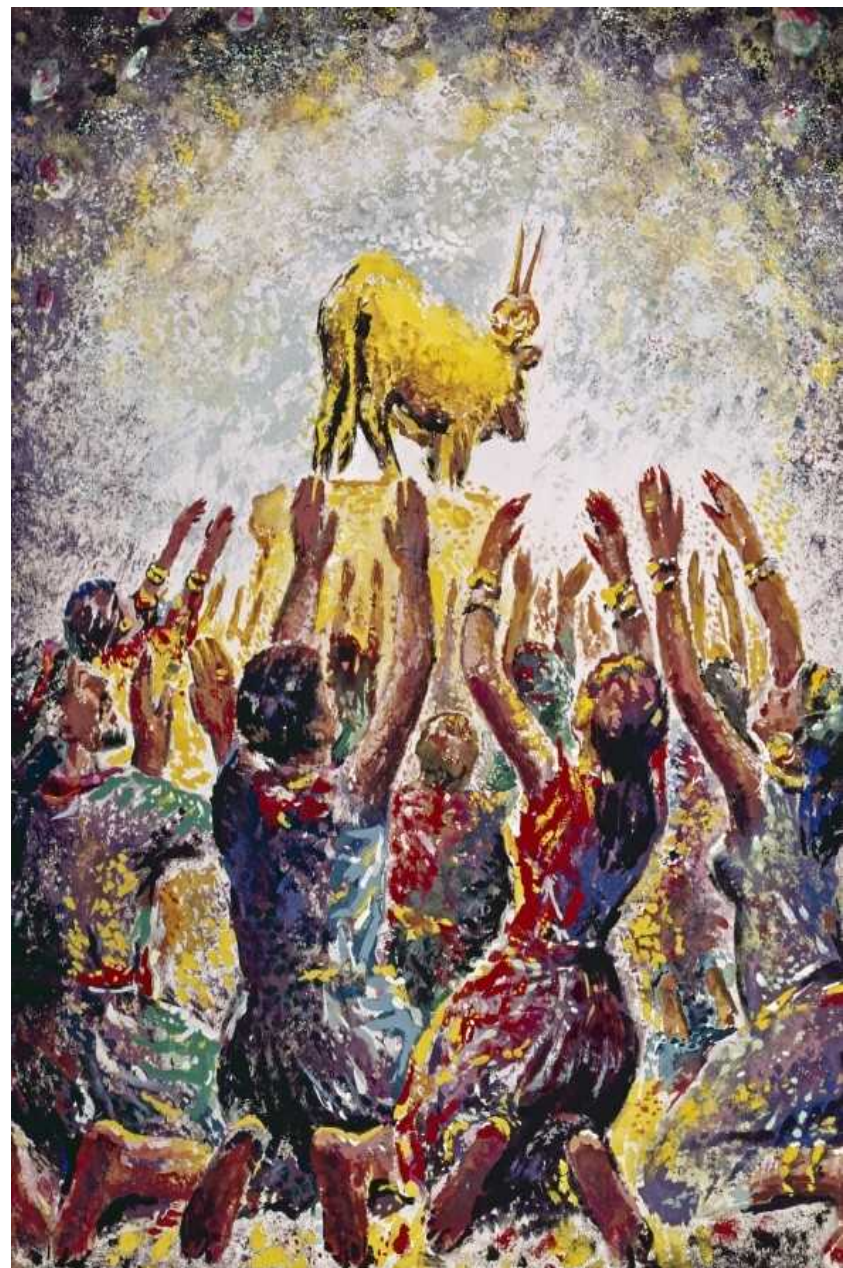
かつてない規模の  
神の顕現が!!

## 【イスラエルの背き】 出32章

■ モーセがシナイ山で神と対面していた時、不安に陥った民は、アロンを脅し、金の子牛の像を造らせ、これをあがめ、乱痴気騒ぎの偶像礼拝を行った。

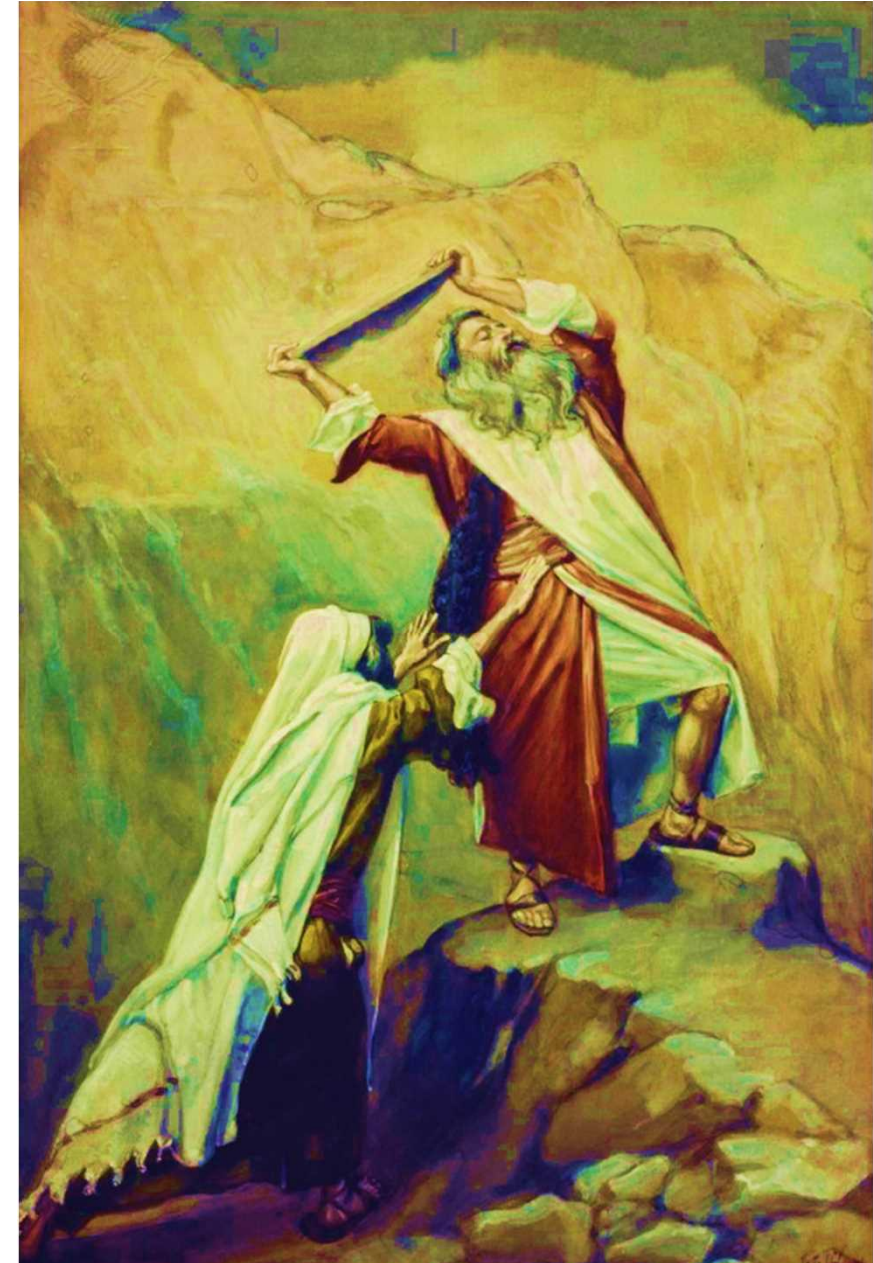
■ 怒る神をモーセは必死でとりなし、首謀者には厳しい裁きが下された。

「そこで、翌日、朝早く彼らは全焼のいけにえをささげ、和解のいけにえを供えた。そして、民はすわっては、飲み食いし、立っては、戯れた。」 出32:6



## 【律法の授与・再授与】

- 民の背きに怒ったモーセによって十戒の石版は、たたき割られた!!
- しかし、民が悔い改めた後、シナイ山に上ったモーセに、再度、十戒の板と律法が授けられた。
- 全部で613項目からなる律法の中心が、神の指によって石版に記された「十戒」



## 【十戒】 ユダヤ人による伝統的理解

- ①わたしは、主(ヤハウエ)である。
- ②他の神を拝むな。偶像礼拝を行うな。
- ③神の御名をみだりに唱えるな。
- ④安息日を覚え、聖なる日とせよ。
- ⑤両親を敬え。
- ⑥殺してはならない。
- ⑦姦淫してはならない。
- ⑧盗んではならない。
- ⑨偽りの証言をしてはならない。
- ⑩隣人のものを欲しがらな。



## 【モーセの律法 十戒とは？】

### ★モーセの律法(モーセ契約・シナイ契約)

- ・シナイ山で、イスラエルと結ばれた契約
- ・「十戒」がその中心 ...全部で613の条項  
(出20:1～申28:68)

### ★モーセの律法の七つの特徴

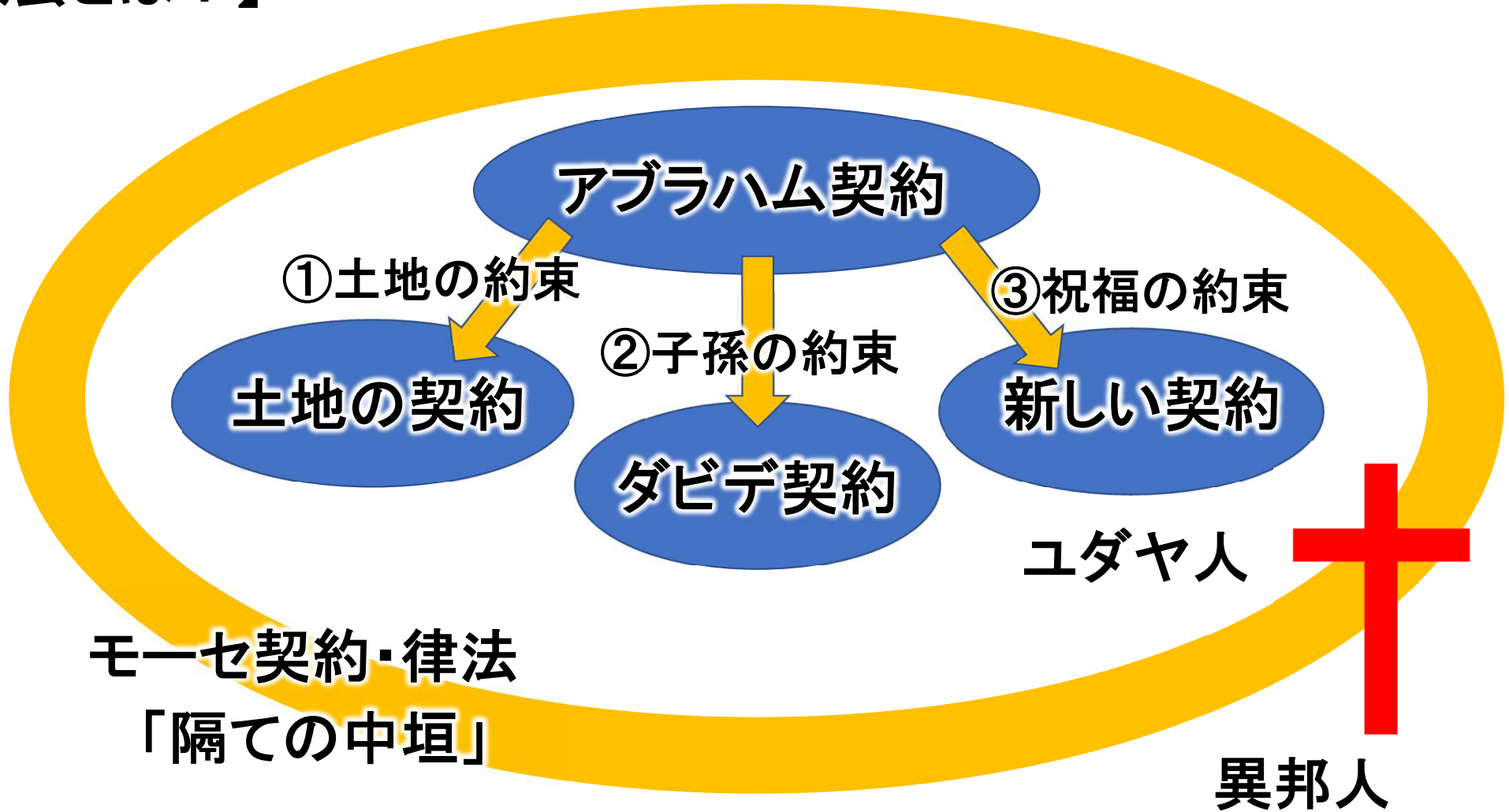
- ①救いの方法ではない。
- ②神が聖であることを示す。
- ③旧約時代の聖徒たちの行動基準である。
- ④人の罪を示す
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。
- ⑥人を信仰へと導く
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。



律法は、イスラエルを導く、飴と鞭

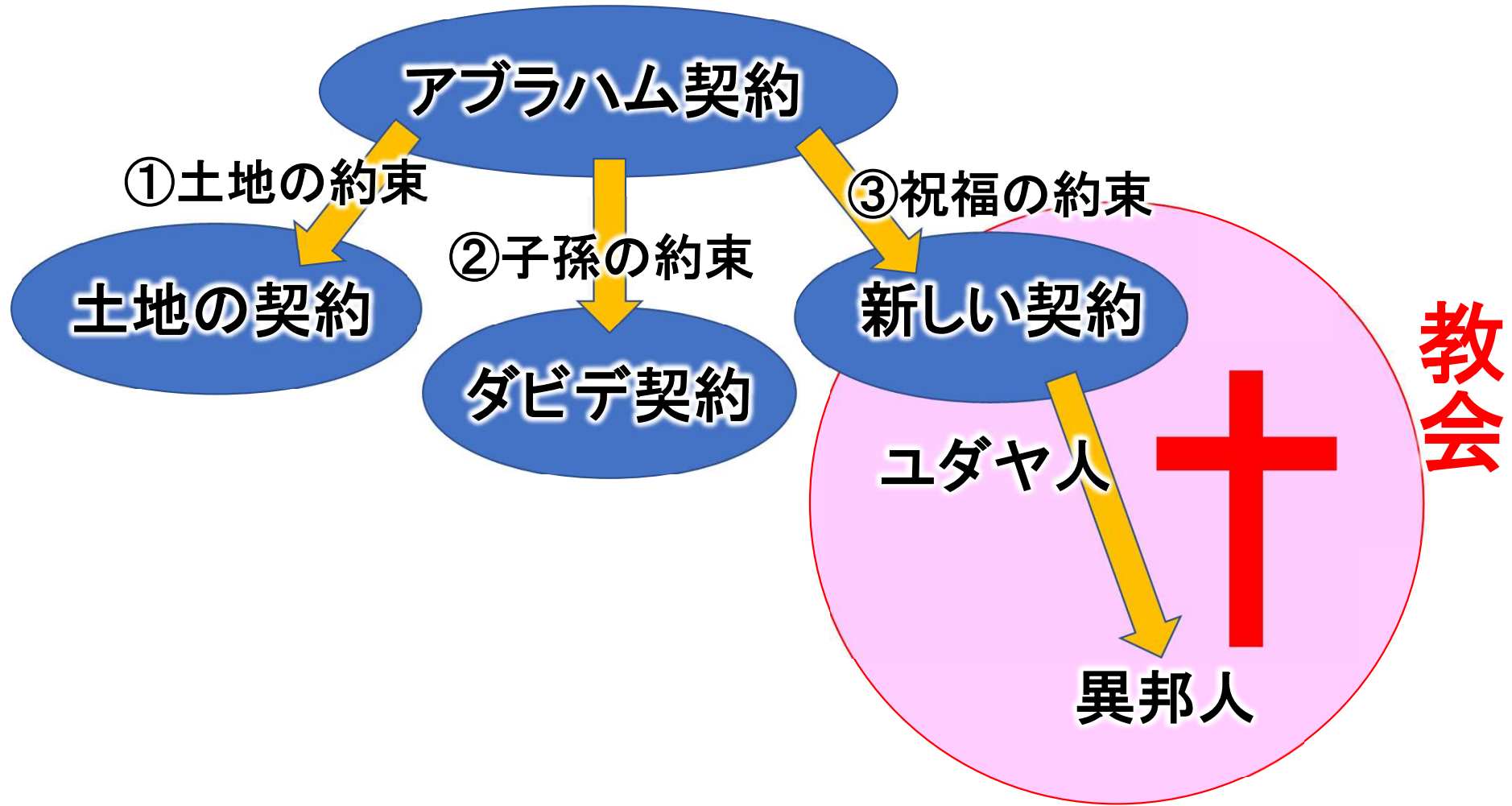
罪を思い知らせ、救い主へ導く

# 【教会とは？】





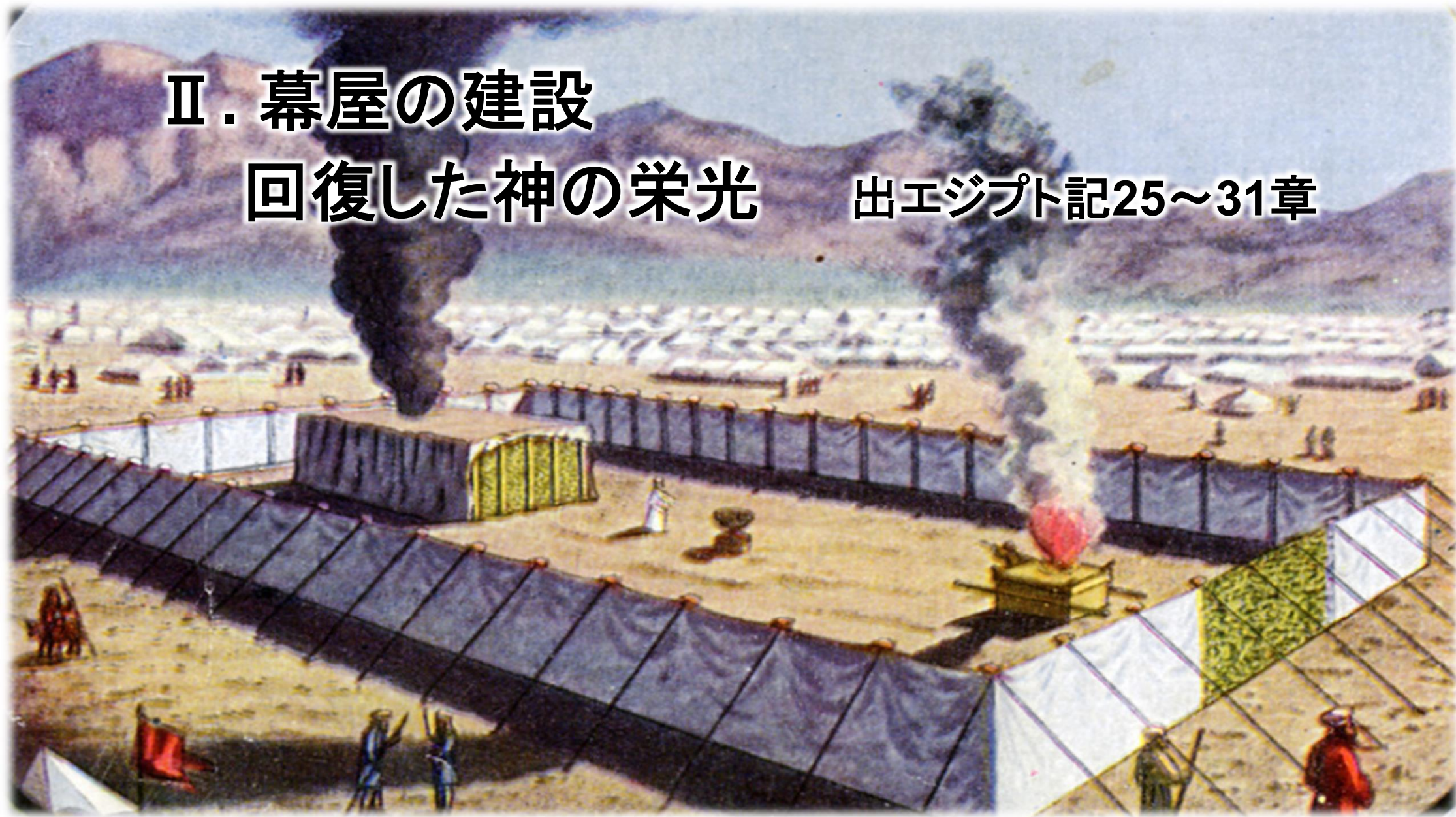
# 【教会とは？】



## Ⅱ. 幕屋の建設

回復した神の栄光

出エジプト記25～31章



## 【幕屋とは？】

■ 神はイスラエルに幕屋の建設を命じた。

■ 幕屋は、移動式のテントの神殿。

神が臨在されるところ。

■ 出エジプト記の半分 ➡ 律法の記述。

3分の1以上 ➡ 幕屋の記述。

■ 出エジプト記で最も重要なのは、幕屋。

幕屋に、シャカイナグローリーが宿る。

「出25:8 彼らがわたしのために聖所を造るなら、わたしは彼らの中に住む。」



**【幕屋の庭】 出27章**

**【北】**

**【西】**

**【東】**



**【南】**

**縦(東西)44m × 横(南北)22m 約970m<sup>2</sup> 約300坪**

【幕屋内部】 出26章 p141

縦13,3m

× 横4,4m

× 高さ4,4m

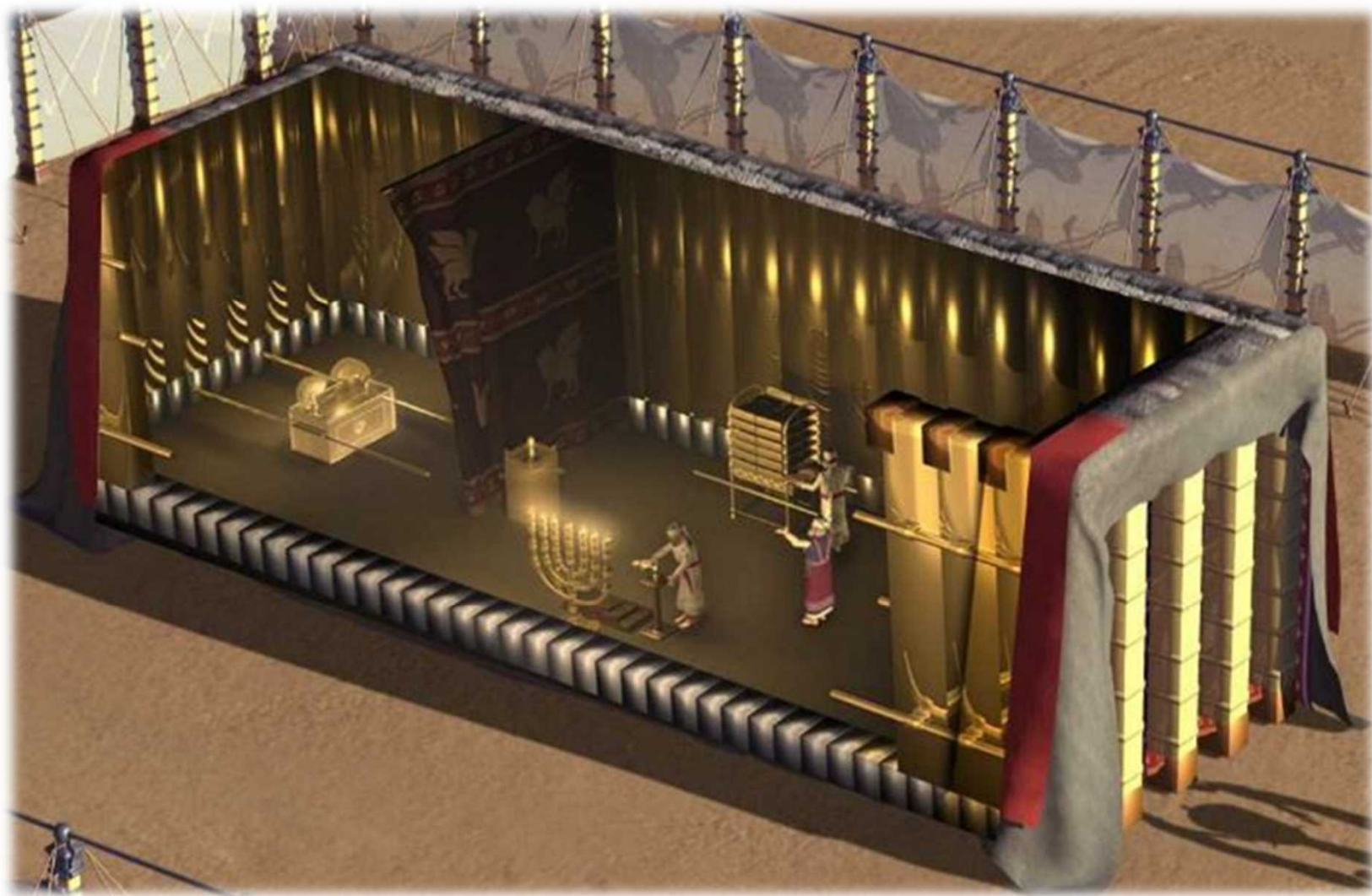
17,5坪 36畳

※聖所 24畳

※至聖所 12畳

(縦横高さ

4.4mの立方体)

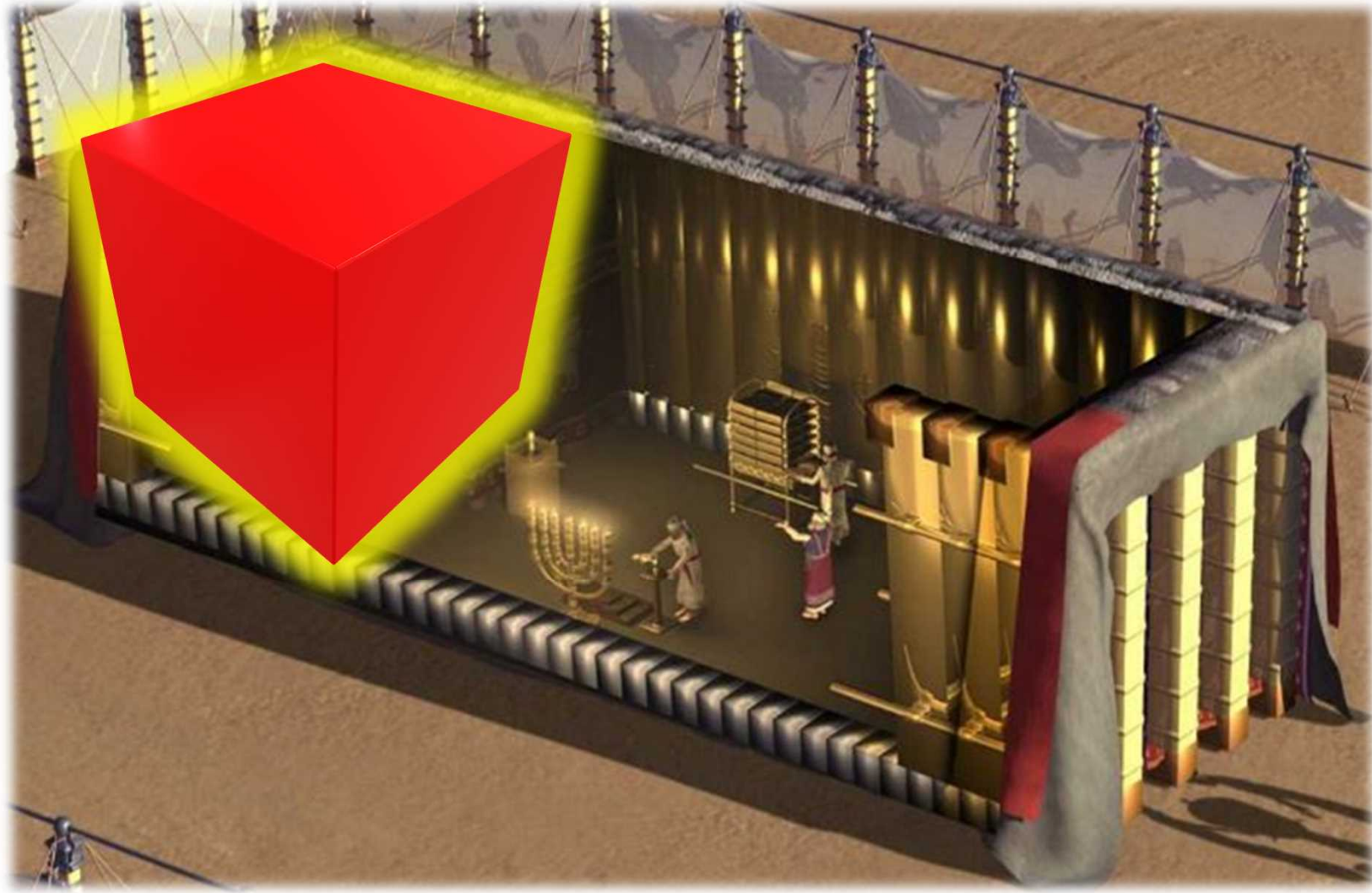


## 【幕屋内部】 出26章

至聖所は、  
天の都エルサレム  
の型。

月ほどの大きさの  
巨大な立方体。

神の計画の  
完成となる、  
新天新地の時代、  
天のエルサレムは  
地上に降り立つ。  
(黙示録21～22章)



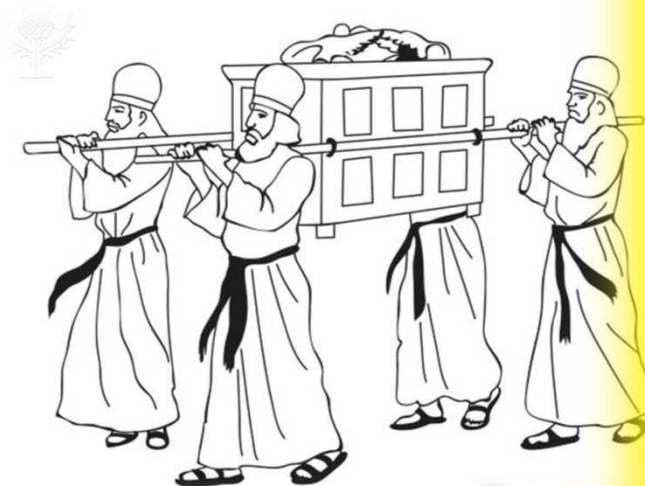
## 【契約の箱】 出25:10～22

■ 縦113cm × 横68cm × 高さ45cm  
アカシア材＋純金で覆う

■ 最も重要な祭具。

■ 幕屋の奥、至聖所に安置され、  
贖いの蓋のケルビム(天使像)の間に  
シャカイナグローリーが宿った。

■ 中身は、①十戒の石版2枚  
②アロンの杖  
③マナの壺



## 【悔い改めた民の献げ物】 出35章,36章

■ 金の子牛事件の後、

悔い改めた民は、喜び、心から献げ物をした。

【出エジプト記35:20、36:6】

「感動した者と、心から進んでする者とはみな、  
会見の天幕の仕事のため、また、そのすべての  
作業のため、また、聖なる装束のために、  
【主】への奉納物を持って来た。

...それでモーセは命じて、宿営中にふれさせて  
言った。「男も女も、もはや聖所の奉納物の  
ための仕事をしないように。」

こうして、民は持つて来ることをやめた。

エジプトから得た贈り物が  
幕屋建設の材料に!!





## 【幕屋の組み立て】 出40:16～33

第一の月の一日。

イスラエルがエジプトを出て1年後。  
建設を初めて半年後。

神が命じられた通り、幕屋が完成した。

「こうして、モーセは仕事を終えた」

出40:33













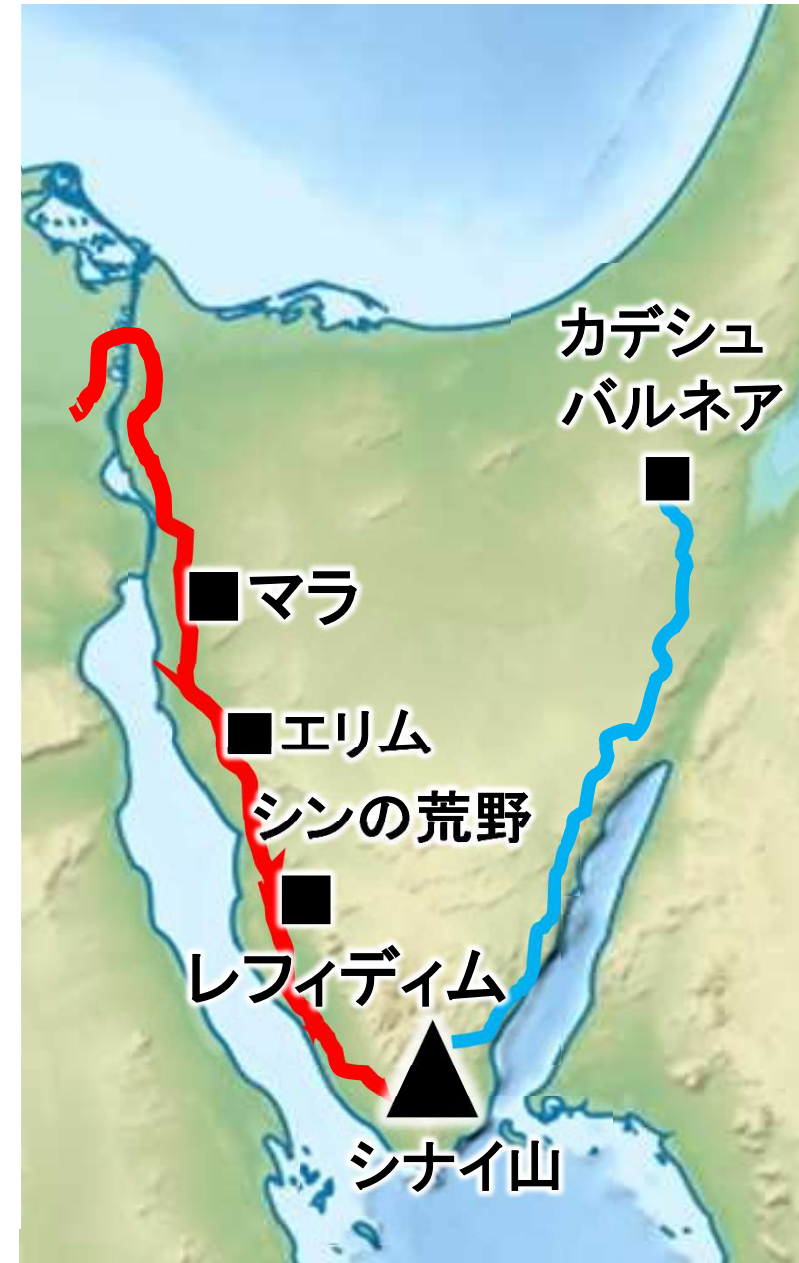
# Ⅲ. 荒野の40年

## 民数記～申命記



## 【約束の地へ】

- イスラエルは、シナイ山に滞在した1年間に、律法を学び、幕屋を建設した。
- そしていよいよ、約束の地に向けて旅立ったのだが...
- 民の不平は続出し、激しくなる一方。兄アロンと姉ミリアムまでもが、モーセに逆らったこともあった!!





## 【偵察隊の報告】 民数記13:27～30

- 代表12人が、偵察隊として派遣された。
- 偵察隊は、約束の地を南北に縦断し、土地の豊かな産物を抱えて帰還した。

「私たちは、あなたがお遣わしになった地に行きました。そこにはまことに乳と蜜が流れています。これがそののくだものです。」

しかし、その地に住む民は力強く...  
私たちはあの民のところに攻め上れない。  
あの民は私たちより強いから。」



## 【恐れおののくイスラエル】 民数記13～14章

- 偵察隊の中のヨシュアとカレブの二人だけは、約束の土地を必ず勝ち取れると訴えた。
- しかし、イスラエルの民は、恐れおののき、モーセに怒りを爆発させた!!

「私たちは、エジプトの地で死んでいたらよかったのに。

できれば、この荒野で死んだほうがまだ。そして互いに言った。「さあ、私たちは、ひとりのかしらを立ててエジプトに帰ろう。」



## 【神の裁き】 民数記14章

- 反逆の民に、神の激しい怒りが臨んだ。
- モーセの必死の祈りにより、滅亡は免れたがヨシュアとカレブ以外の同世代のイスラエルは、誰も約束の地には入られなくなってしまった。

## 【民数記14:29】

この荒野であなたがたは死体となって倒れる。  
わたしにつぶやいた者で、二十歳以上の  
登録され数えられた者たちはみな倒れて死ぬ。



## 【コラの反逆】 民16:31～33

- この後も民の背きは繰り返された。
- あるときは、レビ族の一人コラが、250人のリーダとともに反逆し、裁かれ、生きたまま大地に飲み込まれた。

「...彼らの下の地面が割れた。

地はその口をあけて、彼らとその家族、またコラに属するすべての者と、すべての持ち物とをのみこんだ。

彼らとすべて彼らに属する者は、生きながら、よみに下り、地は彼らを包んでしまい、彼らは集会の中から滅び去った。」

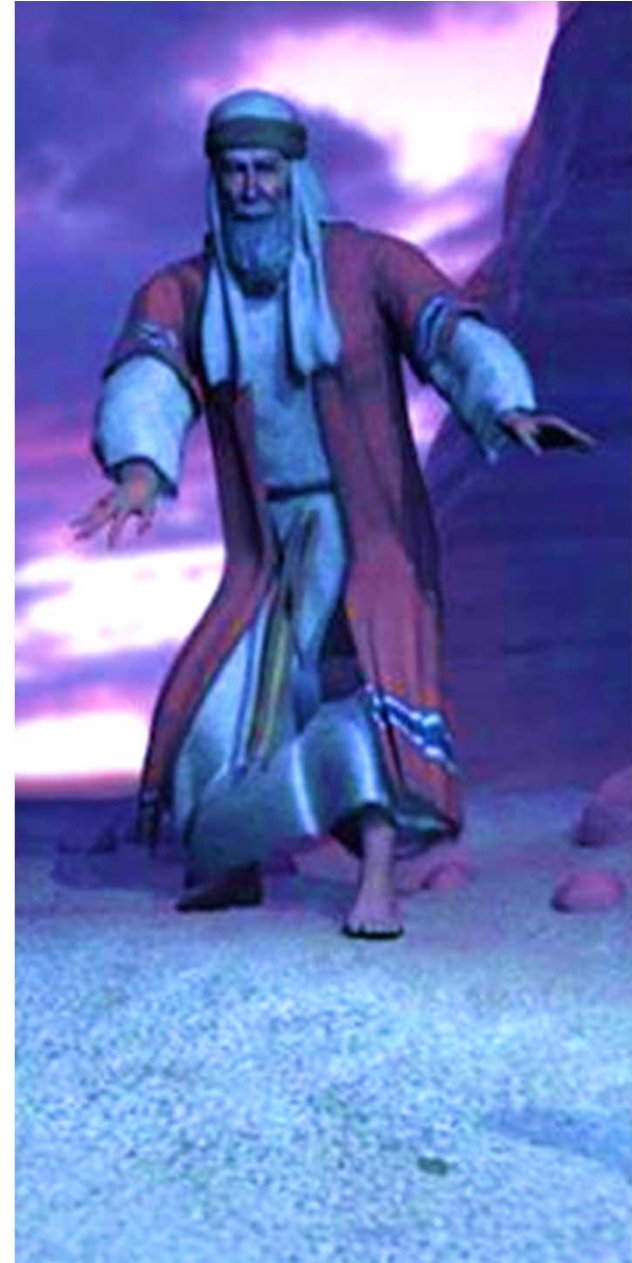


## 【モーセの失敗】

- 水を飲ませろと騒ぎ立てるイスラエルの前で、激昂したモーセは、「水が出るよう岩に命ぜよ」という神の命令に背き、岩を二度打ちたたいた。
- このためモーセとアロンも、約束の地に入ることを神に禁じられてしまった。

## 【民数記20:12】

「あなたがたはわたしを信ぜず、わたしをイスラエルの人々の前に聖なる者としなかった。それゆえ、あなたがたは、この集会を、わたしが彼らに与えた地に導き入れることはできない。」



## 【新たに結ばれる、土地の契約】 申命記29:1~3

■40年の荒野の放浪が過ぎた頃、

主は、新たに一つの契約を結ばれた。

➡律法(モーセ契約)とは別の「**土地の契約**」。

### 【土地の契約の預言の内容】

- ①イスラエルは神に背き、約束の地を追われる。
- ②やがて、再び約束の地に集められる。
- ③イスラエルは、約束の地を完全に所有する。

※**土地の占有権は失うが、所有権は不変**。

神がアブラハムと結ばれた契約のゆえに。





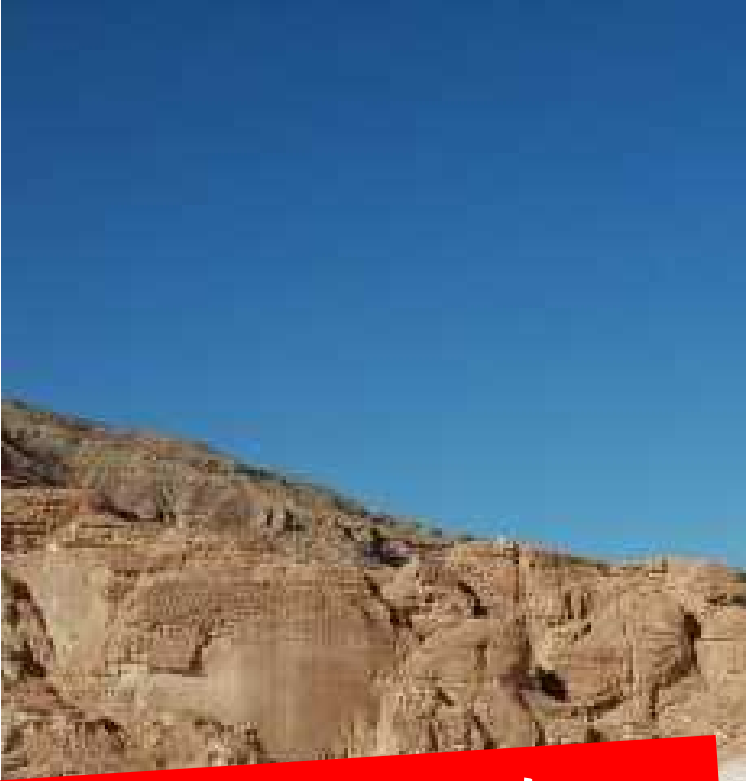
土地の契約は、  
アブラハム契約の  
土地の約束の発展版!!

## 【荒野の40年を守られた民】 申命記29:5～6

■40年間、民の服も靴も古くならなかった。  
神が、民を守られた「しるし」だった。

「29:5 私は、四十年の間、あなたがたに荒野を行かせたが、あなたがたが身に着けている着物はすり切れず、その足のくつもすり切れなかった。

29:6 あなたがたはパンも食べず、また、ぶどう酒も強い酒も飲まなかった。それは、「わたしが、あなたがたの神、【主】である」と、あなたがたが知るためであった。」



不従順が招いた  
荒野の40年。  
それでも  
イスラエルは守られ、  
身をもって、神を知った!!



# 【イスラエル 荒野の40年】

エジプト

カナン

シナイ

エジプト→カナン  
10日間の距離を  
40年かかった!!  
神に背いたために!!

es Courtesy of MapQuest  
OpenStreetMap contributors, CC-BY-SA

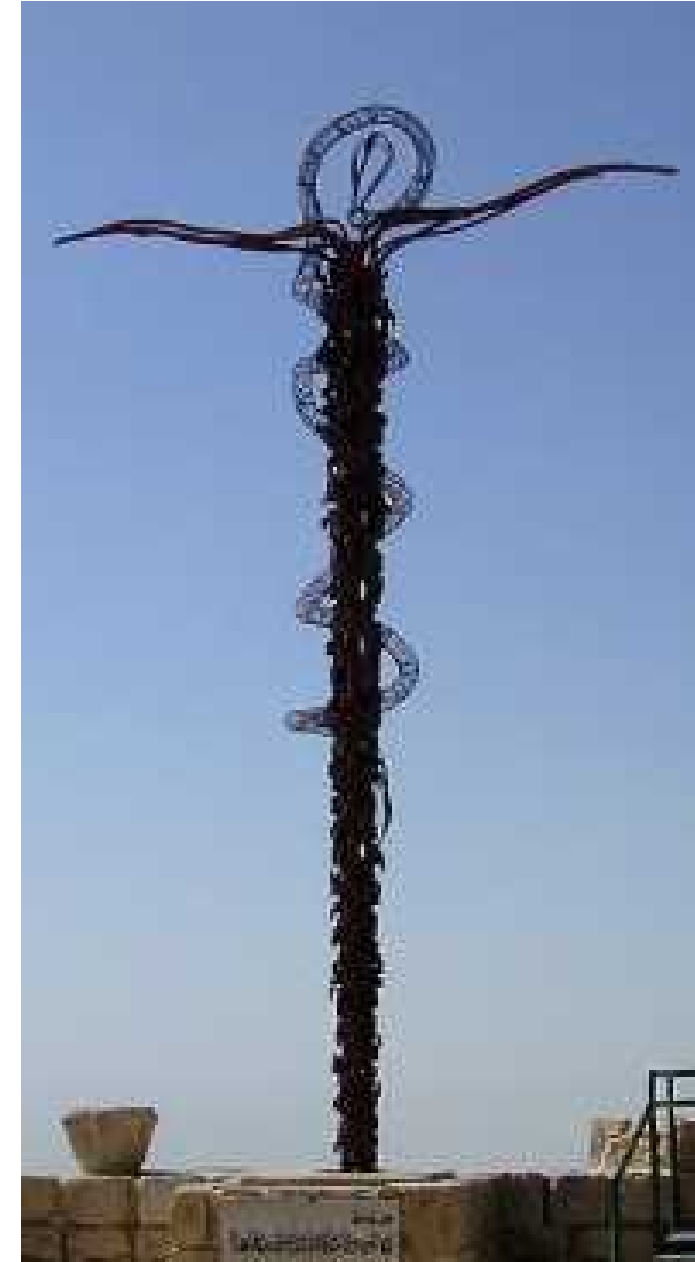
## 【モーセの死】

モーセは、ネボ山から、約束の土地を見た。

その生涯では適わなかったが、  
神の約束は、いつか必ず果たされる。

モーセが、約束の地で祝福を受ける時が来る。

モーセは、神の約束を握りしめて  
天に召されていった。





ネボ山からの光景

## IV. まとめと適用

人はどうしたら救われ、  
変わっていけるのか？



## 【青銅の蛇】 民21章

■ モーセの失敗直後の出来事。

またもや不平を言う民を、神は蛇によって裁いた。

■ 神の命じたとおり、モーセが青銅で蛇を作ると、  
それを見上げた者は救われた。

## 【民数記21:8～9】

「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上につけよ。すべてかまれた者は、それを仰ぎ見れば、生きる。」

モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを旗ざおの上につけた。もし蛇が人をかんでも、その者が青銅の蛇を仰ぎ見ると、生きた。

青銅の蛇は、十字架の  
キリストの型・影



## 【律法が教えていること】

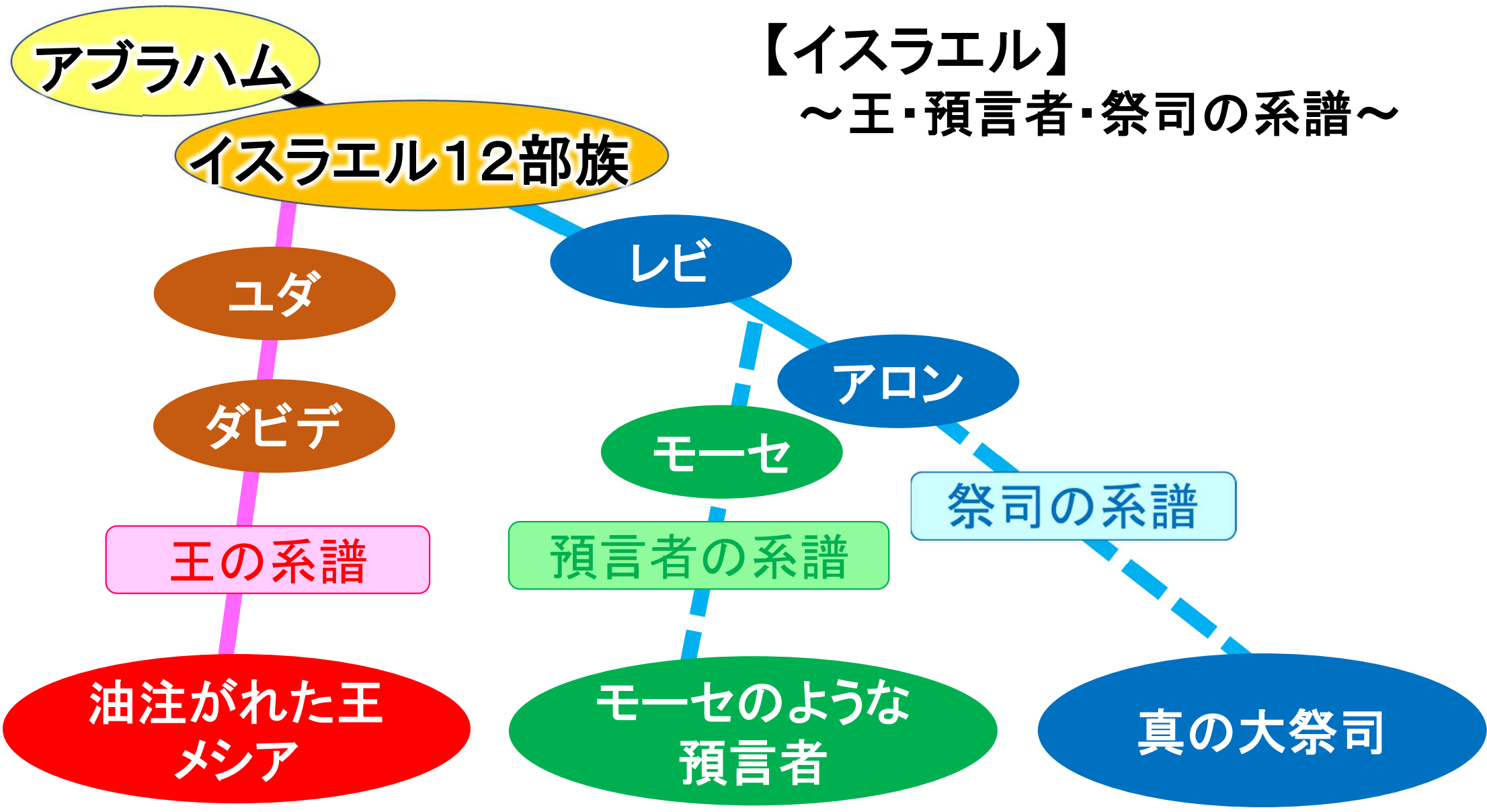
- イスラエルは、神の律法を守り切れなかった。
- 人には、正しいことを成し遂げる力がない。
- モーセに、神は、メシアの登場を予告された。
- 律法の最大の目的は、メシアに導くこと。
- メシアは、人を滅びから贖い、信仰を成長させ、永遠の神の王国へと導く。

## 【申18:18】

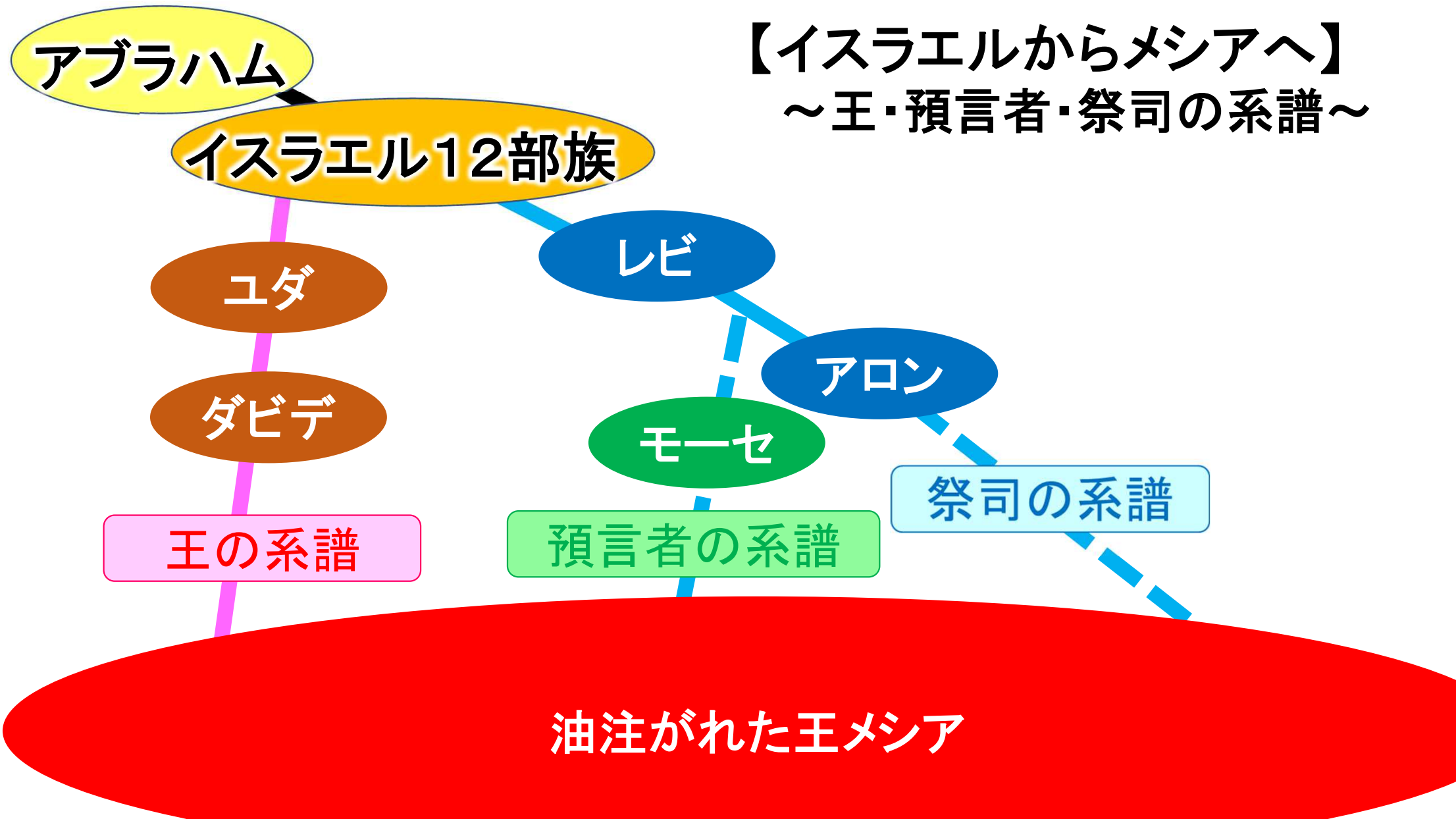
わたしは彼らの同胞のうちから、彼らのために  
あなたのようなひとりの預言者を起こそう。  
わたしは彼の口にわたしのことばを授けよう。  
彼は、わたしが命じることをみな、彼らに告げる。



【イスラエル】  
～王・預言者・祭司の系譜～



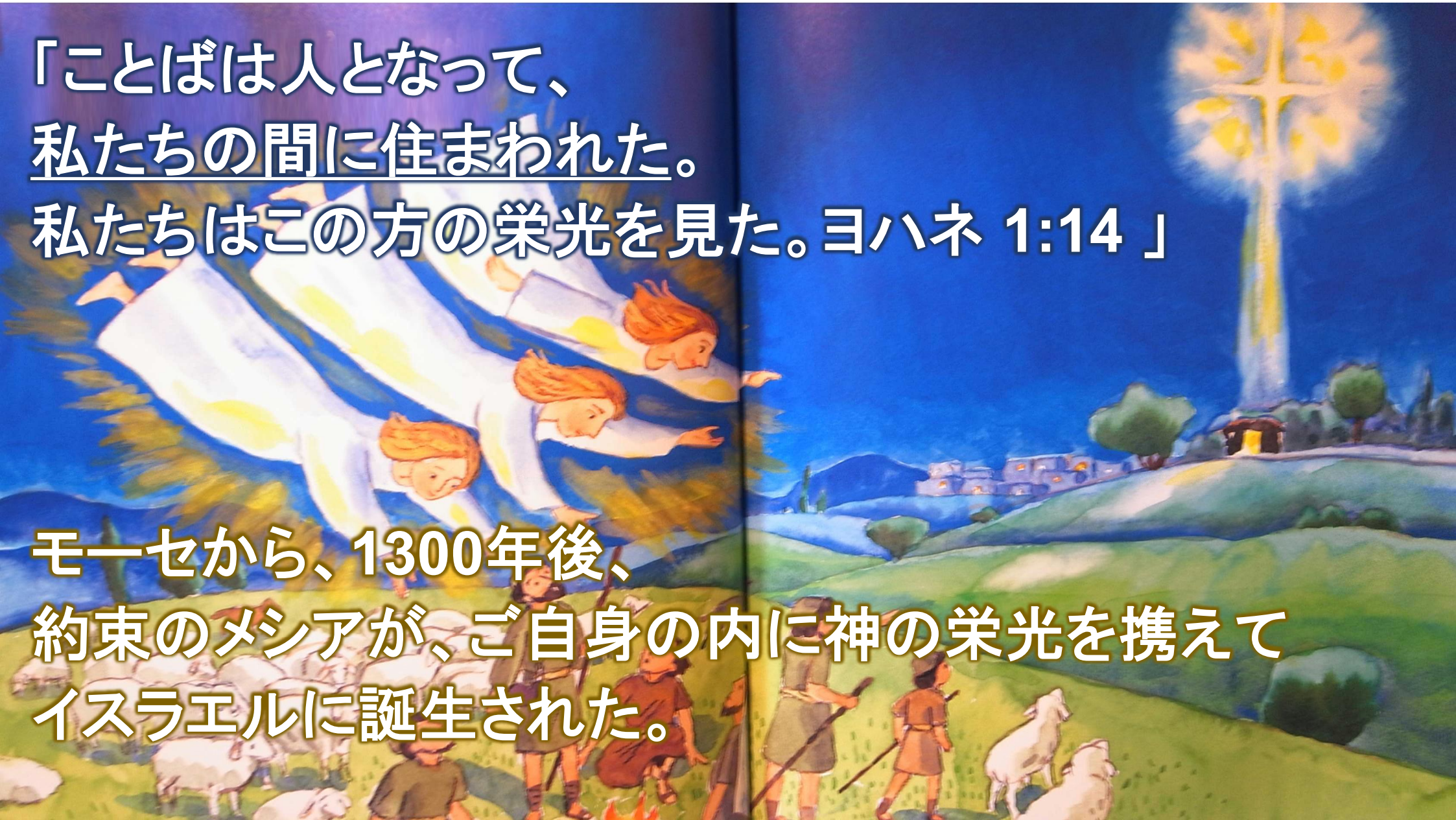
【イスラエルからメシアへ】  
～王・預言者・祭司の系譜～





「ことばは人となって、  
私たちの間に住まわれた。  
私たちはこの方の栄光を見た。ヨハネ 1:14」

モーセから、1300年後、  
約束のメシアが、ご自身の内に神の栄光を携えて  
イスラエルに誕生された。



## 【イエスが告げたキリストの使命】 ヨハネ3:14～16

「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。

それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」

『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである』

**人はただ、主イエスを信じる信仰によって救われる!!**

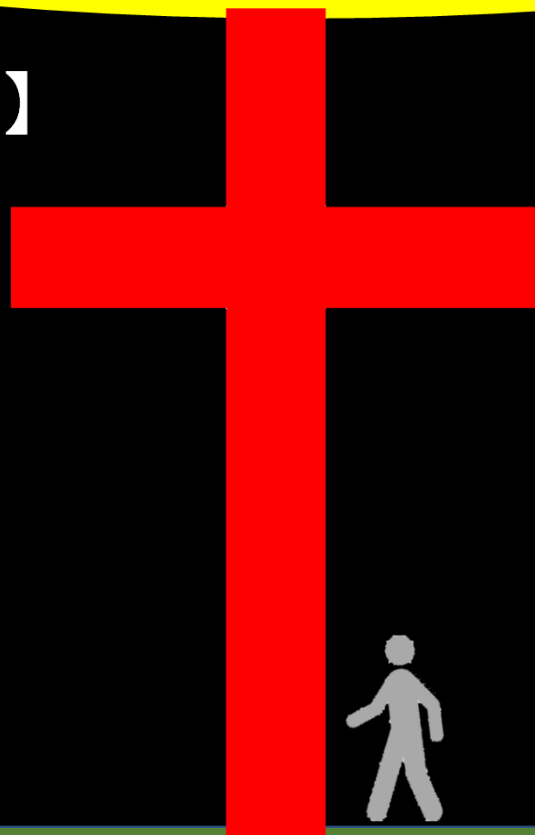


神

【聖書の記す「救い」の原則】

…人は、どうしたら

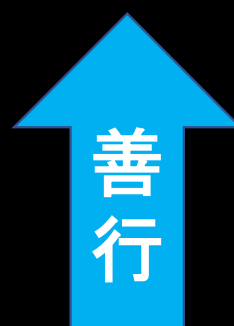
神にたどりつけるか？



哲学



宗教



善行



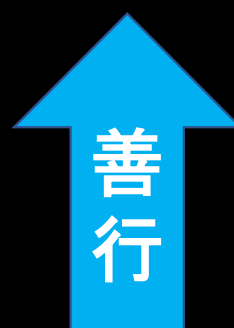
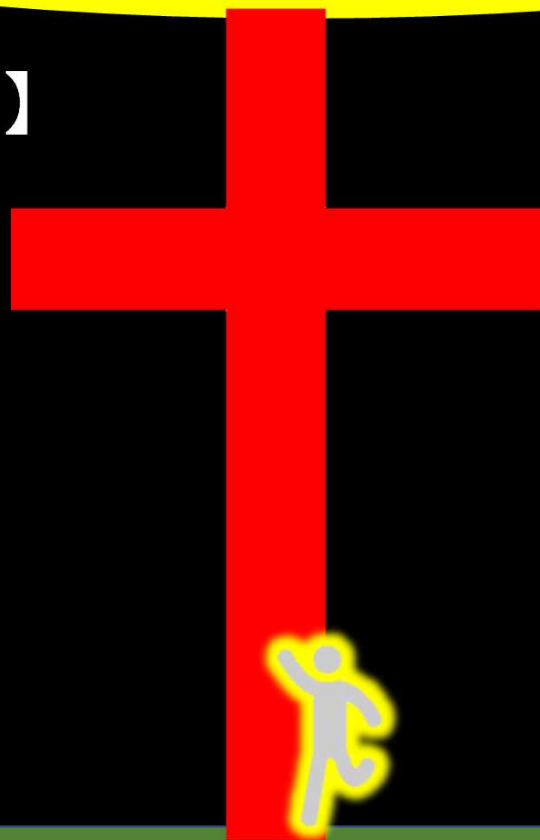
知識

人

神

【聖書の記す「救い」の原則】

…人は、どうしたら  
神にたどりつけるか？



人

神



【聖書の記す「救い」の原則】

…人は、どうしたら  
神にたどりつけるか？

「わたしが道であり、  
真理であり、いのちなのです。  
わたしを通してでなければ、  
だれも父のみもとに行くこと  
はできません。」 ヨハネ 14:6

哲学

宗教

善行

知識

人

## 【聖書が教える救いの原則・成長の原則】

“イエス・キリストは、ご自身の内に  
神の栄光(シャカイナグローリー)を宿して誕生され、  
私たちの罪のために、十字架にかけられ、  
死んで葬られ、三日目に復活された。”

- この福音を信じ、イエスを人生に招き入れた瞬間、  
あなたの罪はゆるされ、生まれ変わる。
- 新生したあなたの内に、神の霊(聖霊)がおられ、  
あなたを変えていってくださる。

「天のお父さま。

あなたに背(そむ)き続(つづ)けてきた、  
わたしの罪(つみ)を悔(く)い改(あらた)めます。  
わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

キリストのあがないのゆえに、わたしは救(すく)われました。

わたしの内(うち)に、栄光(えいこう)の御霊(みたま)が

住(す)まわられています。信頼(しんらい)して、歩(あゆ)ませてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」